

第37回京都肝胆膵外科セミナー

謹啓 大暑の候、先生方におかれましては益々ご健勝にお過ごしのことと存じます。

早速ではございますが『第37回京都肝胆膵外科セミナー』の開催要項がまとまりました。今回も引き続き3つのテーマを設けており、以下のテーマ1、テーマ2につきまして関連施設より演題を応募いたします。

◇ テーマ1：ロボット支援膵切除術・高難度膵切除術

近年の肝胆膵外科領域において、膵疾患へのアプローチは目覚ましい進歩を遂げています。本セミナーでは、保険適用の拡大に伴い普及・定着が進む「ロボット支援膵切除術」に関する演題を広く募集いたします。術式の定型化や安全な導入の工夫、トラブルシューティングなど、各施設での最新の取り組みをご提示ください。またこれに加え、集学的治療の進歩を背景とした「高難度膵切除術」に関する演題もあわせて募集いたします。化学療法や放射線治療後の切除可能境界（BR）膵癌に対する手術や、切除不能（UR）膵癌に対するコンバージョン手術など、ぜひ積極的なご発表をお願いいたします。低侵襲手術のさらなる発展から、高度進行癌に対する挑戦に至るまで、活発な議論の場となることを期待しております。皆様からの多数のご応募を心よりお待ちしております。

◇ テーマ2：若手外科医の膵切除術（U40）

本セッションでは、開腹・腹腔鏡・ロボットを問わず、若手外科医が行う膵切除術の技術習得における工夫や課題について検討致します。手術ビデオを中心に各施設のベストプラクティスを共有し、明日からの臨床に役立つ知識の交流を図ります。各施設が期待を寄せる若手外科医にとって、日頃の成果を発表し、また諸先輩方から直接ご指導やアドバイスをいただける絶好の機会と考えます。皆様からの奮ってのご応募を心よりお待ちしております。

◇ テーマ3：日本内視鏡外科学会技術認定(膵臓)取得に関する特別講演

難度の高い膵臓領域において日本内視鏡外科学会技術認定を取得されました兵庫県立尼崎医療センターの北村先生より、資格取得に向けた貴重なご経験や実際の手術手技についてご講演いただきます。

加えてこれまで同様に、多施設共同研究/臨床研究の新規紹介や進捗状況に関しても発表して頂きたいと存じますので、臨床研究名およびdiscussionの可否をご連絡ください。

また、円滑なプログラム進行のため、今回より発表データを事前にご登録いただくこととなります。誠に恐れ入りますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

演題募集は令和8年9月7日までとさせていただきます、9月中旬に採択結果を通知致します。応募多数の場合は事務局にて検討の上、発表演題を決めさせていただきます。また発表形式および時間につきましては、応募状況およびプログラム構成を踏まえて検討致しますのでご了承ください。

ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが万障お繰り合わせの上、第37回京都肝胆膵外科セミナーに、ご参加いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

事務局

- ・ 日時：令和8年10月31日（土）14:00～17:30
- ・ 場所：TKP 京都四条カンファレンスセンター
- ・ 演題応募：<https://forms.gle/DeEoaTPkvG1jrh7j6>
 - ※ 応募締切：令和8年9月7日（月）
 - ※ セミナー開催後に懇親会を予定しております。

大津赤十字病院 北口 和彦
福井赤十字病院 小山 幸法
静岡市立静岡病院 佐々木 直也
公立豊岡病院 上村 良
連絡先：京都肝胆膵外科セミナー事務局
khps-office@kyoto-u-sa.or.jp

